

令和7年  
第1回大仙市議会定例会

# 一般質問

( 令和7年3月3日・4日 )

大仙市議会

## 【 一 般 質 問 者 】

### ◆ 3月3日（月）

- ① 佐藤隆盛 議員（市民クラブ）
- ② 佐藤芳雄 議員（だいせんの会）
- ③ 秩父博樹 議員（公明党）
- ④ 橋本琢史 議員（新政会）
- ⑤ 戸嶋貴美子 議員（だいせんの会）

### ◆ 3月4日（火）

- ① 金谷道男 議員（大地の会）
- ② 挽野利恵 議員（公明党）
- ③ 佐藤文子 議員（日本共産党）
- ④ 本間輝男 議員（新政会）

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	地域振興事業について	① 地域づくり活動と補助金のマッチング、新規事業の掘り起こしに対し、各支所とどの様に取り組んできたのか、取り組んでいるのか伺う。更なる制度周知が必要とあるが何を指すのか伺う。今年度の実施予定事業数と昨年度の増減比数及び他への移行減数とその金額はいくらか伺う。
2	「大曲の花火」観覧席割引支援について	① 物価高騰で一部のチケット値上がり対応として、125万円の予算計上し、市民向けに割引価格で先行販売するとあるが、チケット販売数、割引数は検討中との事だが、125万円の内訳について伺う。 「大曲の花火」に協力している近隣住民への観覧席割引支援行うべきと思うが伺う。

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和7年2月17日

大仙市議会議員 佐藤隆盛

大仙市議会議長 古谷武美 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	住民の行政参加について	① 行政参加による自治意識の高揚について、住民の自治意識を向上させ、自分たちの市は自分たちでつくるんだという意識を持たせるために、行政の一部に市民の参加を求める市民が自発的に参加するようなことが考えられないかどうかということについて。
2	職員の能力開発について	① 職員の能力を開発するため、施策について伺いたい。

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和7年2月18日

大仙市議会議員 佐藤 芳雄

大仙市議会議長 古谷 武美 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	大規模災害への備えの強化について	<p>① 今後の災害に備え、想定される最大避難者数などを基に、「携帯トイレ」の備蓄計画の見直しと同時に必要数を調達すべきと考えるが、必要数に対する備蓄の現状と今後の方針について伺う。併せて、通常のトイレ施設が使用不能とならないように、発災直後の適切な「携帯トイレ」の使用方法等を各避難所の運営マニュアル等に反映する必要があると考えるがどうか。</p> <p>② 地域の介護福祉施設での「携帯トイレ」「簡易トイレ」の備蓄等の状況を速やかに確認し、介護福祉施設における携帯・簡易トイレの備蓄を支援していくべきと考えるがどうか。</p> <p>③ 大規模災害が発生した際には、TKB（トイレ、キッチン、ベッド）の迅速配備や、スフィア基準を踏まえた避難所環境を迅速に整えることができるよう、早急に本市の地域防災計画をアップデートしておくべきと考えるがどうか。</p>

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和7年2月19日

大仙市議会議員 秩 父 博 樹

大仙市議会議長 古 谷 武 美 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	地方創生による地域の賑わ <sup>にぎわ</sup> いづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 若年層が地元に着しない理由</li> <li>② 観光資源を活用した賑わいづくり</li> <li>③ 地元企業の支援による賑わいづくり</li> <li>④ 市民参加の促進による賑わいづくり</li> </ul>

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和7年2月25日

大仙市議会議員 橋本琢史

大仙市議会議長 古谷武美 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	芸術文化交流施設およびイベント広場について	① 本市として、文化財の保存・活用、および市民の文化活動の発表の場を提供する必要性について。 ② 他自治体の事例を参考に、大仙市においても新たな文化交流施設を整備する可能性について。 ③ 施設の新設が難しい場合、既存施設の改修や活用による対応は検討できるか。

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和7年2月25日

大仙市議会議員 戸 嶋 貴美子

大仙市議会議長 古 谷 武 美 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	公共施設の管理について	指定管理者制度について ① 指定管理者制度による管理運営施設数と指定管理者制度を使える可能性のある施設はどのくらいあるのか ② 指定管理者の評価をどのようにしているのか ③ 指定管理者制度の課題は何か ④ 今後指定管理者制度をどのように活用してゆくのか

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和7年2月25日

大仙市議会議員 金 谷 道 男

大仙市議会議長 古 谷 武 美 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	合葬墓について	<p>① 合葬墓のアンケート調査からは賛成の声が多いようだが、アンケート調査以外で市民の声が市に届いているか。</p> <p>② 社会情勢や価値観の変化により、お墓への考え方も以前に比較し変わってきているように感じる。跡継ぎがない方や墓じまいを考えている方などのニーズに答えるため、いち早く市営合葬墓の整備を行うべきではないか見解を伺う。</p>
2	こころの相談について	<p>① 「大仙市こころの健康相談・カウンセリング ほっとスペース」「大仙市こころのメール相談」では、相談できる内容、担当する相談員は同じか。</p> <p>② ほっとスペースの面接は平日のみで、働いている人が利用しにくい、申込み方法が電話のみで、かけるのに勇気がいるとの声がある。申込み方法にネット申込を加え、休日や夜間の面接ができないか。面接場所は健康福祉会館であるが、足を運べない市民のために各支所等で面接できないか。</p> <p>③ メール相談は概ね7日以内に返信となっているが、実際は何日以内に応えているか。メールでの問い合わせは、民間企業においてはその日のうちに帰ってくるケースが多い。相談者は少しでも早く返信が欲しいと思うが、実状について伺う。</p>

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和7年2月25日

大仙市議会議員 挽野利恵

大仙市議会議長 古谷武美様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	介護保険制度をめぐる問題点と介護労働者育成について	<p>① 人手不足の最大の原因となっている全産業平均より月5～7万円低い賃金について、全産業並みに引き上げるよう支援を検討できないか。</p> <p>② 介護報酬の引き下げで一層厳しい経営を強いられている訪問介護支援事業所に維持費支援金を給付することを検討できないか。</p> <p>③ 介護職に希望を持ち、安心して働ける職場労働環境を整えるとともに、養成施設の学費無償化などで若い介護労働者の県外流出の歯止めになるとも考える。</p>
2	あきたこまちRについて	<p>① 同一のほ場における、あきたこまちRと（従来の）あきたこま치의収量の比較について</p> <p>② あきたこまちRを生産する上で、マンガン資材を使用したほ場があったのか、あったとすれば、どれだけのほ場で使用したのか。</p> <p>③ あきたこまちRに対し、安全性の不安や、売れるのかといった不安・疑問が払拭できない。およそ5万ヘクタール以上のほ場で生産される28万トン以上のあきたこまちR米が本当に売れるのか。県の姿勢も自信のなさが垣間見えるが、この点、どのように考えているか。</p>

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和7年2月25日

大仙市議会議員 佐藤文子

大仙市議会議長 古谷武美 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	令和7年度予算編成	① 骨格予算編成と補正予算対応 ② 令和7年度の市債発行と財調基金の取りくずしの方向 ③ 義務的経費の削減の方針 ④ 国政の動向の据え方と長期債返還対応
2	幼保統廃合計画	① 幼保統廃合計画の方向 ② 大曲保育会と大空大仙の経営統合
3	部活動の地域移行	① 推進計画の進捗状況の確認 ② 具体的動きがあるか ③ 指導者の確保と地位的保障 ④ 練習場の確保とチーム編成

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和7年2月25日

大仙市議会議員 本 間 輝 男

大仙市議会議長 古 谷 武 美 様